



# 環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

2022年8月号 (315号)



「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」第8期の活動がスタートしました (P2)



「2023 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています (P3)



「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」に参加しませんか (P3)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」

Web ページは

こちらから→

今月号とバックナンバーを掲載しています。





# 「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」

## 第8期の活動がスタートしました



持続可能な未来のあいちの担い手となる大学生 40 名が研究員となり、パートナー企業・団体 8 社から提示された環境課題に対して、解決策を提案する「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の活動がスタートしました。

6月26日（日）に愛知県自治センターで開かれた開所式には、研究所の所長である大村知事、第8期の研究員、パートナー企業・団体の皆さん、ファシリテーターの皆さんが出席しました。



開所式



大村知事からの激励挨拶

大村知事からは研究員へのお祝いと激励の挨拶、パートナー企業・団体の皆さんからも研究員の活躍を期待するコメントをいただきました。

また、研究員を代表して愛知工業大学の齋藤聖矢さんから、「個々の個性を最大限に生かし、我々ならではの発想で、魅力ある解決策を提案します」と頼もしい抱負が述べられました。



研究員代表  
齋藤聖矢さん

8月から、現地での調査や企業・団体担当者とのディスカッションなど、本格的な研究活動を行い、12月には、その成果を発表する予定です。



パートナー企業と研究員のミーティング

県は、持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を推進しており、若者らしい斬新な視点で解決策を提案する研究所の活動を通じて、研究員が「環境リーダー」に成長することを期待しています。

〔 環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン) 〕

パートナー企業・団体 (50音順)	環境課題
(株)加藤建設	「建設業」×「自然」×「〇〇」豊かな自然を守るため、新たなアクションを創造せよ
(株)コマダ	お客様が心からくつろげる、サステナブルな店舗を企画せよ
(株)サンゲツ	暮らしを彩り、サステナブルな未来のライフスタイルを促す企画を検討せよ
敷島製パン(株)	国産小麦の消費を拡大し、食料自給率向上につながる情報発信策を企画せよ
豊島(株)	繊維業界の大量廃棄を食い止める！余剰在庫を減らしつつ、持続可能なビジネスを検討せよ
西尾信用金庫	信用金庫の取引先が手軽にカーボンニュートラルに取り組める企画を検討せよ
(株)バローホールディングス	バローグループの店舗ネットワークを活用した愛知県民を巻き込むフードロス削減策を提案せよ
ホーユー(株)	サステナブルな未来に向けて、ホーユーが貢献できる商品やサービスを検討せよ

## 「2023 愛知環境賞」へのエントリーを 募集しています



愛知県では、2005年の愛知万博を契機に、企業、団体などが行う先駆的で効果的な環境取組の事例を「愛知環境賞」として表彰しています。

今年度も、表彰の対象となる取組を募集していますので、是非ご応募ください。

### 1 賞の種類

金賞、銀賞、銅賞、中日新聞社賞、名古屋市長賞、優秀賞

### 2 募集対象者

企業、団体又はグループ（個人の応募は不可）

### 3 募集対象事例

サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに関する取組など、資源循環や環境負荷低減を推進する先駆的で効果的な愛知県内の〈技術・事業〉及び〈活動・教育〉



愛知環境賞  
ロゴマーク

### 4 募集期間

8月1日(月)から9月30日(金)まで(必着)

### 5 応募方法

応募用紙(Webページから入手可)10部及びCD-R等の電子媒体1部を資源循環推進課へ直接お持ちいただくか、郵送(〒460-8501(住所記載不要))してください(Eメール不可)。

### 6 選考結果の公表

2022年12月下旬予定

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://aichi-shigen-junkan.jp/kankyoushou/>)



〔資源循環推進課 循環グループ  
電話 052-954-6233(ダイヤルイン)〕

## 「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」に 参加しませんか



愛知県では、地球温暖化防止に向け、「賢い選択」(クール・チョイス(COOL CHOICE))を促す「あいち COOL CHOICE」県民運動の取組の一つとして、児童が家族と一緒に過ごす時間の長い夏休み期間中に、

チェックシートを使って省エネなどのエコアップ行動に取り組んでいただく「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を実施しています。



夏休みの自由研究や児童の自発的な取組を促すきっかけづくりに、是非ご参加ください。

エコアップ行動を実践していただいたご家族には、愛知県認定「エコ家族認定証」をお渡しします。

### 1 参加方法

特設Webページからエコアップブックをダウンロードし、取組の結果をチェックシートに7日間記録し、下記までお送りください。

なお、学校で参加している場合は、エコアップブックを先生にお渡しください。

### 2 提出・問合せ先(提出期限:9月30日(金))

愛知県地球温暖化防止活動推進センター  
〒461-0005

名古屋市東区東桜2-4-1 第3コジマビル4階  
電話:052-934-7295

詳細はWebページをご覧ください。

🔍 夏休みエコアップ大作戦

(<https://www.accca.net/ecoup/>)



〔地球温暖化対策課 調整・企画グループ  
電話 052-954-6213(ダイヤルイン)〕

# 「2021 年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」についてお知らせします



愛知県は、水質汚濁防止法第 16 条第 1 項の規定により作成した「2021 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき、関係機関が行った県内の水質調査を行いました。結果の概要は、次のとおりです。

## 1 公共用水域の水質調査結果

### (1) 健康項目

河川、湖沼、海域の 139 地点のうち、1 地点で 1,2-ジクロロエタンが環境基準を達成しなかったものの、その他の項目及びその他地点の全ての項目で環境基準を達成しました(2020 年度と同様)。

### (2) 生活環境項目

環境基準の達成率は下表のとおりです。達成率の長期的な推移としては、河川の生物化学的酸素要求量 (BOD)、海域の全窒素及び全りんについては改善傾向にあり、海域の化学的酸素要求量 (COD) については概ね横ばいで、湖沼の COD については未だ達成していません。

### 【環境基準(生活環境項目)の達成水域数及び達成率】

調査項目	類型指定 水域数	環境基準 達成水域数*3		環境基準 達成率*3		
		数	(%)	数	(%)	
河川	BOD	49*1	48(48)	98%	(98%)	
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	40(40)	95%	(95%)	
		ノニルフェノール	42*1	42(42)	100%	(100%)
		L A S	42(42)	100%	(100%)	
湖沼	COD	1	0(0)	0%	(0%)	
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	1(1)	100%	(100%)	
		ノニルフェノール	1	1(1)	100%	(100%)
		L A S	1(1)	100%	(100%)	
海域	COD	11*2	5(6)	45%	(55%)	
	全窒素	6*2	5(5)	83%	(83%)	
	全りん		4(6)	67%	(100%)	
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	4*2	4(3)	100%	(75%)
		ノニルフェノール		4(4)	100%	(100%)
		L A S		4(4)	100%	(100%)

\*1 調査項目により数は異なりますが、対象河川は同一です。

\*2 COD、全窒素及び全りんについては三河湾を含む伊勢湾で、水生生物保全環境基準については三河湾を除く伊勢湾です。

\*3 ( ) 内は 2020 年度の状況です。

## 2 地下水の水質調査結果

県内の地下水の水質の概況を把握するため 108 地点で調査(概況調査)を行った結果、12 地点で環境基準を超過した項目がありました。新たに環境基準の超過が判明した地点については、井戸所有者へ飲用しないよう指導しました。

また、地下水汚染が判明した地域の継続的な監視(定期モニタリング(継続監視)調査)や地下水汚染の汚染範囲等の確認(汚染井戸周辺地区調査)も行っています。

### 【環境基準の超過地点数】

調査区分	調査地点数	環境基準 超過地点数
概況調査	メッシュ調査	89(89)
	定点調査	19(19)
定期モニタリング(継続監視)調査	154(240)	87(106)
汚染井戸周辺地区調査	17(37)	3(4)

\* ( ) 内は井戸の本数を示す。



採水作業の様子

## 3 今後の対応

引き続き調査を行い、環境基準の達成状況を把握するとともに、水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例等に基づき、事業者に対する指導、生活排水対策等を総合的に推進し、環境基準の達成・維持に努めていきます。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2021suishitsu-taiki.html>)



水大気環境課 調整・計画グループ  
電話 052-954-6221 (ダイヤルイン)  
水・土壌規制グループ  
電話 052-954-6222 (ダイヤルイン)

# 「2021年度大気汚染調査結果」について お知らせします



愛知県は、大気汚染防止法に基づき、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市及び一宮市とともに、二酸化硫黄等の大気汚染状況の常時監視及びベンゼン等の有害大気汚染物質のモニタリングを行っています。

2021年度の調査結果の概要は、次のとおりです。

## 1 大気汚染常時監視結果

二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）については、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しました。光化学オキシダントは、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しませんでした。

### 環境基準の達成状況

項目	二酸化硫黄		二酸化窒素	
	一般局	自排局	一般局	自排局
局区分 <sup>(注1)</sup>	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	20	4	61	24
達成測定局数	20	4	61	24
環境基準達成率 <sup>(注2)</sup>	100%	100%	100%	100%

項目	一酸化炭素		浮遊粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
局区分	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	2	9	63	24
達成測定局数	2	9	63	24
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	光化学オキシダント		微小粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
局区分	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	62	13	44	17
達成測定局数	0	0	44	17
環境基準達成率	0%	0%	100%	100%

(注1)一般局は地域を代表する点に設置されている一般環境大気測定局のことで、自排局は幹線道路沿いに設置されている自動車排出ガス測定局のことで。

(注2)環境基準達成率は、「(達成測定局数/有効測定局数)×100(%)」で示しています。

## 2 有害大気汚染物質等モニタリング調査結果

環境基準等が定められているベンゼンなど15物質については、全ての測定地点で環境基準等を達成しました。

## 3 今後の対応

引き続き常時監視やモニタリングを行うことで、環境基準等の達成状況を把握するとともに、大気汚染防止法、自動車NOx・PM法、県民の生活環境の保全等に関する条例、愛知県NOx・PM総合対策推進要綱等に基づき、工場、事業場などに対する固定発生源対策や自動車環境対策等の各種大気汚染防止対策を総合的に推進し、環境基準等の達成・維持に努めます。



朝宮大気汚染測定局（一般局）



大気環境測定車

〔 水大気環境課 大気調査グループ  
電話 052-954-6216 (ダイヤルイン) 〕

# 「2021年度ダイオキシン類調査結果等」 についてお知らせします



愛知県は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、2021年度に実施したダイオキシン類の環境調査結果及び事業者による測定結果を取りまとめました。

## 1 環境調査結果

県は、国土交通省中部地方整備局、5政令市（名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市及び豊田市）及びその他12市町とともに、大気環境、水環境（水質、底質及び地下水）及び土壌環境についてダイオキシン類濃度の調査を実施しました。

大気、底質、地下水及び土壌については、全ての地点で環境基準を達成しました。水質については、1地点（油ヶ淵中央（碧南市））を除き環境基準を達成しました。

### 【環境調査結果】

調査項目	調査地点数	環境基準達成地点数	濃度範囲	環境基準(注1)	単位(注2)
大気	35	35	0.0056 ～0.057	0.6以下	pg-TEQ/m <sup>3</sup>
水質	45	44	0.019 ～1.1	1以下	pg-TEQ/L
底質	43	43	0.083 ～39	150以下	pg-TEQ/g
地下水	16	16	0.015 ～0.060	1以下	pg-TEQ/L
土壌	15	15	0.0048 ～8.2	1,000以下	pg-TEQ/g

(注1) 環境基準（大気、水質、地下水）は年間平均で評価

(注2) TEQとは、ダイオキシン類は異性体が多く、毒性は異性体ごとに異なるため、異性体の中で最も毒性の強い2,3,7,8-TCDDの量に換算した値として表したものの。



採水作業の様子（油ヶ淵）

## 2 事業者による測定・報告状況(5政令市分を除く。)

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく大気基準適用施設（廃棄物焼却炉など）又は水質基準適用事

業場（廃棄物焼却炉の廃ガス洗浄施設など）の設置者は、毎年1回以上、排出ガス、排出水及びばいじん等に含まれるダイオキシン類濃度の測定を行い、その結果を知事に報告することが義務付けられています。

排出ガスについては301施設、排出水については21事業場から報告があり、1施設の排出ガスを除き排出基準に適合していました。排出基準を超過した施設については、改善対策の実施を指導しました。

また、ばいじん及び燃え殻については147施設から報告があり、3施設を除き、ばいじん等の処理に係る基準に適合していました。基準を超過した施設については、適正な処理を指導しました。なお、未報告の施設については、法に基づく測定・報告を適切に実施するよう指導しました。

### 【事業者による測定・報告状況】

測定項目	報告済施設数(注1)		未報告施設数(注3)
		基準不適合	
排出ガス	301	1	9
排出水(注2)	21	0	0
ばいじん及び燃え殻	147	3	1

(注1) 報告済施設数は、2021年度末の数を示す（ただし、報告後廃止した施設も含む。）

(注2) 排出水の施設数は、事業場数を示す。

(注3) 未報告施設数は、2021年度末の時点で稼働している施設数のうち、未報告の施設数を示す。

## 3 今後の対応

ダイオキシン類による汚染の状況を監視するため、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、引き続き環境調査を実施していきます。また、今後も事業場に対して、立入検査を継続し、排出基準及びばいじん等の処理に係る基準の遵守などを指導していきます。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2021dioxin-kisya.html>)



環境活動推進課 環境リスク対策グループ  
電話 052-954-6212（ダイヤルイン）

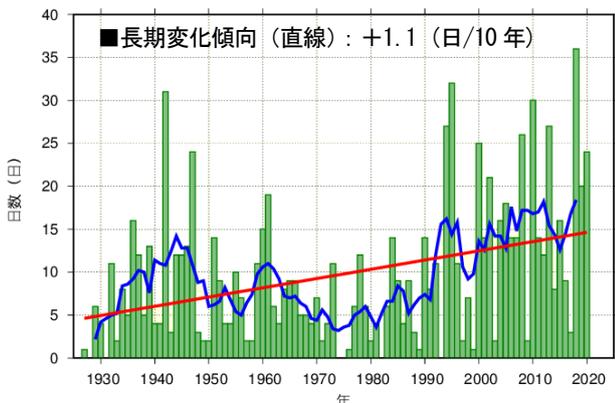
## ○ 猛暑日や熱帯夜の日数の変化について

地球温暖化や都市化の影響により、猛暑日（日最高気温 35℃以上）、熱帯夜（日最低気温 25℃以上）が増加しています。

本号では、これらの変化について、紹介します。

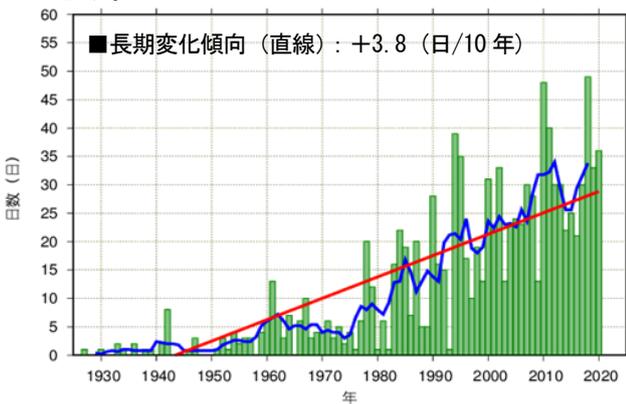
### <これまでの観測での変化>

名古屋（名古屋地方気象台）では、猛暑日の日数は10年あたり約1.1日増えています。



名古屋の猛暑日の日数の変化（気象庁 Web ページの図を加工して作成。棒は毎年の値、折線は5年移動平均値）

また、熱帯夜の日数は10年あたり約3.8日増えています。



名古屋の熱帯夜の日数の変化（気象庁 Web ページの図を加工して作成。棒は毎年の値、折線は5年移動平均値）

### <将来予測>

名古屋地方気象台・東京管区気象台が作成したリーフレット「愛知県の気候変動」によると、将来の気温上昇を2℃以下に抑えるパリ協定の目標が達成された場合であっても、愛知県では20世紀末と比較して21世紀末には、猛暑日は6日程度、熱帯夜は19日程度増加すると予測されています。

詳細は、東京管区気象台（リーフレット「愛知県の気候変動」）の Web ページをご覧ください。

(<https://www.jma-net.go.jp/tokyo/shosai/umi/kikouhenka/leaflet2021/leaflet2021.html>)



### <熱帯夜への適応>

「熱中症環境保健マニュアル 2022（環境省作成）」によると、夜間でも家屋の中では、昼間の熱がこもるため、寝苦しい熱帯夜には、知らず知らずのうちに熱中症になる場合があります。気温があまり下がらない夜には冷房をつけて寝ることも必要です。エアコンのタイマーが切れた後、室温が非常に高くなってしまふことがあることから、タイマーは少なくとも3～4時間は使用することが推奨されています。

詳細は、環境省の熱中症予防情報サイトをご確認ください。

(<https://www.wbgt.env.go.jp/>)



## ○ 生き物への気候変動影響に関する調査

中部地方環境事務所と気候変動適応中部広域協議会では、「気候変動探偵局 生き物大移住計画を調査せよ!」を11月30日（水）まで実施しています。

この調査は、皆さんに「気候変動探偵」として、見つけた動物や植物（特に「セミ」）をスマートフォンアプリで投稿してもらい、気候変動の影響が自然生態系にどのような影響を及ぼすかを調べるものです。多くのデータが必要ですので、調査にご協力ください。

なお、セミの見分け方（成虫・抜け殻の外見、鳴き声）など調査方法の詳細については、中部地方環境事務所の Web ページをご覧ください。

([https://chubu.env.go.jp/earth/ad\\_nature.html](https://chubu.env.go.jp/earth/ad_nature.html))



環境調査センター 企画情報部  
気候変動適応センター  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)



6月号から3回にわたり、昨年度「あいちの未来クリエイト部」に参加した3グループが作成した教材を紹介しています。

今回は、「愛知県立南陽高等学校 総合探究系列&Nanyo Company部」の皆さんが作成した教材を取り上げます。

南陽高等学校 総合探究系列と Nanyo Company部の皆さんは、フェアトレード\*1やエシカル消費\*2の認知度について調査しました。

まず、「フェアトレード商品を購入する人は、エシカル消費を知っているだろう」という仮説をたて、これを検証するためにアンケートを作成し、近隣で開催された秋祭りや、フェアトレード専門店が出店するマルシェなどで調査を行いました。

アンケートの結果、エシカル消費は一般的な認知度が低く、フェアトレード商品を購入する人でもエシカル消費を知らない人が多いことが分かりました。



アンケートの様子



すごろくを楽しむ様子

そこで、フェアトレードやエシカル消費について興味を持っていただき、認知度を上げていくため、フェアトレードの概要や環境問題について学ぶことができる「めざせ！フェアトレード王すごろく」やエシカル消費の方法を学ぶことができる「エシカルリレーすごろく」を作成しました。

すごろくを通して、フェアトレードやエシカル消費について学び、環境に配慮した行動をとっていただくようなきっかけを作ります。

\*1 発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い発展途上国の生産者や労働者の生活改善を目指す貿易の仕組。

\*2 持続可能な社会の実現に向けて人や社会、環境に配慮した商品やサービスを選んで消費すること。

あいちの未来クリエイト部では他にも様々な教材を作成し、全て貸し出しを行っていますので、是非ご利用ください。教材や貸出方法の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/program.html>)



環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

※ 掲載のイベントや講習会等は、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
2022年8月1日発行(第315号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6  
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

#### 編集後記

いよいよ夏本番を迎え、1年で最も暑い時期となりました。家庭できる暑さ対策として、「緑のカーテン」があります。緑のカーテンを設置すると、室内温度の上昇を抑えるだけでなく、エアコンの消費電力を抑制する効果があります。緑のカーテンで、地球に優しく快適な夏を過ごしてみませんか。  
(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。

